

第19回Wリーグ プレーオフ・セミファイナル試合後

記者会見要旨



トヨタ自動車 アンテロース

(レギュラーシーズン 3 位)

■ ジェームス・ダンカン ヘッドコーチ

Q. セミファイナルでの戦いを振り返って

A. デンソーさんに「おめでとう」と言いたいと思います。後半は相手が、本当に良いバスケットをしていたと思います。試合が終わって時間が経っていませんから、すべてをふり返ることはできません。前半は我々のゲームプランを遂行できました。ただ、後半は疲れあつたのか、前半にできていたことができなくなったように感じています。スタッツを見ても、リバウンドは相手の方が多く取っています。選手たちには、リバウンドについては強調していましたし、プライドを持ってやって準備していたのですが、敗因の一つになってしまいました。フリースローを 26 本与えてしまったことも痛手になりました。長いシーズンを戦ってくれた選手たちに感謝していますが、この試合結果には少しがっかりしています。

Q. 明日の 3 位決定戦に向けて、選手にどのようなことを伝えたいか

A. まだ試合が終わった直後ですから、まだ考えていません……ですが、この結果は求めていたもの、予想していたものと違っていたのですが、「これも人生」ですから、しっかりプロセスしたいと思います。

Q. 明日に向けての意気込み

A. もちろん、私たちのチームは“諦めない”という精神がありますから、明日ももう一試合、しっかり戦い抜きたいと思えます。

■ #1 大神 雄子 キャプテン

Q. セミファイナルでの戦いを振り返って

A. 正直に、ファイナル 4 に残ったことで最後まで試合ができるので、そのコートに立てることに喜びを感じています。もちろ

ん、できればファイナルのコートに立ちたかったというのが、選手全員が思っていたことです。ただ、今、ヘッドコーチが言ったように、これも人生ですから。私はこの言葉が好きで、常にプレーしているので、最後にもう 1 試合ありますから、今日は今日で、また明日……簡単に切り替えられるわけではありませんが、これも人生の一つだと思ってプレーしたいと思います。

Q. 明日に向けて、徹底していきいたいこと

A. 負けた時はどのチームもそうだと思いますが、雰囲気が悪くなると思います。でも、まだ 3 位になれるチャンスがありますから、チーム全員で顔を上げてプレーできるように引っ張っていくこと、それが一番年上の自分の役割なのかなと思います。若いチームですから、(この言葉が適切かどうかわかりませんが) バスケットが好きだという気持ちをしっかりコートで表現すること。それは、多分楽しむという言葉になるのかもしれませんが、その受け止め方は人それぞれです。個性が強いチームですから、明日はみんなが、バスケットが好きだ、という気持ちを全員が表現できるバスケットができればいいと思います。

第19回Wリーグ プレーオフ・セミファイナル試合後

記者会見要旨



デンソー アイリス (レギュラーシーズン 2 位)

■小嶋 裕二三 ヘッドコーチ

Q. セミファイナルでの戦いを振り返って

A. 前半は少しアップテンポになり過ぎていました。リードはしていたのですが、いつもと違うペースというか、雰囲気にもまれていた内容になってしまいました。中盤、第2Qから第3Qの終盤まで、かなり失速してしまい、一時はどうなることかと思っていました。高田がミスが続けて、ベンチに下げざるを得なくなり「これはまずいな」という気持ちにもなったのですが、そこから選手たちが奮起してくれて、やるべきことをやり通してくれました。これまでは上位のチームに対しては、先行逃げ切りが多かったのですが、今日は先行リードをしたものの途中で失速、それでも逆転することができたというのは、チームの成長を感じられた試合でした。

Q. (明日の対戦相手はまだ決まっていますが) ファイナルを勝ち抜くために必要なポイントは？

A. 「きちんと守る」ということだと思います。今日は69失点ですが、少なく見積もっても、我々のミスで15点は献上しています。ファイナルは、ミスによる失点だけは防がなければなりません。我々はそれほど高い得点力があるわけではありませんから、ディフェンスが勝負になると思っています。

Q. ファイナルに向けての意気込み

A. 今シーズンは、まさかここまで勝ち残れるかどうか、というスタートでしたが、選手たちの奮闘があってここまで来ました。何とかもう一つ勝ちたい、勝たせてあげたいと思いま……勝ってほしいと思います。

■#8 高田 真希 キャプテン

Q. セミファイナルでの戦いを振り返って

A. 第1Qは自分たちのリズムでできたと思います。第2Qで脚が止まってしまい、相手のリズムになって少し点差が離れました。第3Qの途中まで変わらず、自分のベンチに下がりましたが、その際、小嶋 HC から、自分と#15 稲井選手に対して「とにかくこのクォーターで5点差まで縮めよう」と声を掛けてくださったのです。その指示を守りながら、点差を詰めることができ、リズムを取り戻せました。それで第4Qも自分たちリズムでやることができたと思います。

Q. 明日に向けての意気込み

A. (相手は決まっていますが) 皇后杯は決勝で敗れていますから、そのリベンジができる機会を、しっかり自分たちの手で掴み取ったので、リベンジできるようにいい準備をして臨みたいと思います。

■#15 稲井 桃子 選手

Q. セミファイナルでの戦いを振り返って

A. 今日は前半、相手のリズムになってしまいました。いつもと違う流れだったと思いますが、それでも第3Q、第4Qで#8 高田キャプテンが声を掛けてくれて、みんなであつて行こうという気持ちになりました。最後は、気持ちで勝つことができたと思います。

Q. ファイナルを勝ち抜くために、ご自身が果たすべき役割を教えてください。

A. やはりアシストだけではなく、ファールをもらったり、自分がシュートを決めたり、そういうプレーをもっとファイナルで出していきたいと思います。

Q. ファイナルに向けての意気込み

A. (もし JX-ENEOS さんが相手だとしたら) 今シーズンは4回戦って一度も勝っていませんから、この決勝の舞台で勝ちたいと思います。

第19回Wリーグ プレーオフ・セミファイナル試合後

記者会見要旨



シャンソン化粧品 シャンソンVマジック (レギュラーシーズン 4 位)

■ 丁 海鎔 ヘッドコーチ

Q. セミファイナルでの戦いを振り返って

A. 今日の出だしは用意してきたディフェンスができて、第 1Q は 22-22 と同点。「行けるかな」と思いましたが、力不足で負けてしまいました。でも、第 1Q だけでも選手たちが「これならできるんだ」と、少しでも感じる事ができた試合でした。#10 渡嘉敷選手や#21 大崎選手のプレーは抑えられませんから、仕方ありません。彼女たちのような特別な存在の選手たちやられても、それほど悔しいという気持ちはありません。良い流れの時があったので、もう少しその流れをつかめればよかったです。……でも、今日の試合は悔しいというだけではありません。いつか勝ちますから、ちょっと待っていてください、いつになるかわかりませんが（笑）

Q. 明日の 3 位決定戦に向けて、最後までやり抜きたいことは？

A. 相手はトヨタ自動車です。ご存知のようにたくさん（優秀な）選手がいますけど、我々には 5 人しかいません。ですけど、もう明日しかありませんから、頑張って勝ちます。いい試合をしますから。

■ #6 本川 紗奈生 キャプテン

Q. セミファイナルでの戦いを振り返って

A. 前半が勝負になるとしていました。第 1Q は同点で終わることができて良かったのですが、第 2Q から後半にかけては、自分たちがミスをしてしまって後手に回る展開になってしまいました。それでも、戦えるという手ごたえを感じることができたのは、次につながると思います。

Q. 個人的に良かった点は？

A. 最後まで諦めないで、ルーズボールに飛び込んだり、ボールに絡んでいったりする姿勢を見せたいと思っていました。一生懸命頑張って、プレーで示そうと思っていたので、それはできたかな、と思っています。

Q. 明日に向けての意気込み

A. 明日はどのようなかわかりませんが、今までやって来たヘッドコーチのバスケットをやれば勝てると思っていますから、気負わずにリラックスして頑張りたいと思います。

第19回Wリーグ プレーオフ・セミファイナル試合後

記者会見要旨



JX-ENEOSサンフラワーズ (レギュラーシーズン 1 位)

■佐藤 清美 ヘッドコーチ

Q. セミファイナルでの戦いを振り返って

A. 第 1Q のところは、あまり自分たちのバスケットができませんでした。第 2Q から相手のチェンジングディフェンスに慣れてきた部分があって、いいオフェンスが出るようになり、それで相乗効果というか、ディフェンスが良くなってきたと思います。相手はレギュラーシーズンで平均 75 得点のチームですから、それを 56 点に抑えられたことは満足しています。

Q. 明日のファイナルはデンソーと対戦します。どう準備が必要だと考えていますか？ やられてはいけないことは？

A. まだ終わったばかりなので、明日のことは考えていませんが、とにかく自分たちのバスケットをしっかりできるようにしたいと思います。

Q. 明日に向けての意気込み

A. ここまで来たからには優勝したいと思います。

■ #0 吉田 亜沙美 キャプテン

Q. セミファイナルでの戦いを振り返って

A. 試合の入りが少し重くなってしまいましたが、ディフェンスを我慢しようと考えていました。(第 1Q は相手に 22 点取られています) 試合を通してはいいディフェンスができたのではないかと思います。そこは明日に向けてもう一度、徹底してできるように頑張りたいと思います。明日に向けて良いバスケットができたと思っています。

Q. 明日に向けて、ご自身が果たすべき役割について教えてください。

A. キャプテンとして、仲間を引っ張っていきたくて、ポイントガードとしては、仲間のいいプレーを引き出すのが役目です。だから、「チームが勝つために」ということだけを考えてプレーしたいと思います。私個人のプレーは後回しで、みんなが気持ちよくプレーできるようにしたいと思います。

Q. 明日に向けての意気込み

A. チームの目標は変わらず「二冠」です。皇后杯は獲りましたから、リーグ戦で“もう一つ、ひまわりを咲かせる”ためにも相手に立ち向かって行きたいと思っています。そのためにも JX の走るバスケットを 40 分間、徹底してやっていきたいと思っています。